

(1)町内小・中学校の教育環境について ①今後の整備計画

資料№1

1. 空調設備設置(エアコン設置) <5億7900万円>
 - 今年度、町内全小学校・中学校の普通教室、特別教室、職員室、保健室、会議室、給食室等へエアコン設置完了(遅くとも8月末までに) ※使用マニュアル作成済み
 2. トイレの洋式化 <2億4000万円(両小野小を含む)>
 - 辰野中学校:すでに洋式化済
 - 辰野西小学校:昨年度1.2年用トイレの洋式化工事完了(両小野小1.2年も)
 - 川島小学校:今年度、給食調理室トイレ、児童用トイレの洋式化工事
 - 国交付金の採択で、辰野東小学校、辰野西小学校の全トイレは、今年度設計、着工により来年度までに総て洋式化
 - 辰野南小学校:長寿命化工事の中で一体として改修予定。
 3. 長寿命化
- 辰野中学校第2体育館改修工事……今年度設計、来年度工事実施 <1億円>
- 第2体育館2階を中心に老朽化対応工事(昨年度、雨漏りと床の一部改修済み)
-
- プール改修が必要になつてしまっている状況
- 小・中学校のプールも老朽化。プール本体、プールサイドの劣化、配管の水漏れ等が目立つ
- 全ての学校のプールを改修するには、巨額な財政負担を伴うが、使用状況(僅か1ヶ月程度、各クラス10時間程度の使用)を考慮すると、今後の整備を含め、プールのあり方、水泳授業のあり方も検討する必要があり、様々な角度から検討中。

小学校トイレ洋式化計画

洋式化率(改修または和式1基以外は洋式化済)

2019/7/19

		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
教室棟1F	教室棟1F ②2年生	③特支 ④3年生	教室棟2F ③特支 ⑤4年生	⑥3年生	⑦3年生	⑧3年生	⑨3年生	女子トイレ改修時に男子トイレもあわせて全面改修
辰野西小学校	教室棟3F ④4年生	⑤5年生	教室棟4F ⑥5年生	⑦6年生	⑧6年生	⑨6年生	⑩6年生	女子トイレ改修
管理教室棟1F	⑪共用	⑫共用	管理教室棟2F ⑬共用	⑭共用	⑮共用	⑯共用	⑰共用	女洋式改修
普通教室棟1F ①1年生	②1年生	③2年生	普通教室棟1F ②2年生	③3年生	④4年生	⑤5年生	⑥6年生	⑦6年生
辰野東小学校	普通教室棟3F ④4年生	⑤5年生	普通教室棟3F ④4年生	⑤5年生	普通教室棟3F ④4年生	普通教室棟3F ④4年生	普通教室棟3F ④4年生	普通教室棟3F ④4年生
昇降口棟	①児童用 ②職員用	③児童用 ④職員用(窓)	②体育馆	③体育馆	④体育馆	⑤教室	⑥給食室	⑦職員用
辰野南小学校	①児童用 ②職員用	③児童用 ④職員用(窓)	特別教室棟 ①1年生	特別教室棟 ②2年生	特別教室棟 ③3年生	特別教室棟 ④4年生	特別教室棟 ⑤5年生	特別教室棟 ⑥6年生
川島小学校	普通教室棟(低学年) ①1年生用	普通教室棟(高学年)1F ②2年生用	普通教室棟(高学年)1F ③児童名鑑	普通教室棟(高学年)2F ④3年生用	普通教室棟(高学年)2F ⑤4・5年生	普通教室棟(高学年)2F ⑥6年生	普通教室棟(高学年)2F ⑦職員用	普通教室棟(高学年)2F ⑧職員用
西野小学校	普通教室棟(低学年) ①1年生用	普通教室棟(高学年)1F ②2年生用	普通教室棟(高学年)1F ③児童名鑑	普通教室棟(高学年)2F ④3年生用	普通教室棟(高学年)2F ⑤4・5年生	普通教室棟(高学年)2F ⑥6年生	普通教室棟(高学年)2F ⑦職員用	普通教室棟(高学年)2F ⑧職員用

*洋式化率は設置箇所で算出(給食室除く)

2019年度	学校施設環境改善交付金 (配分基礎額1/3) 内定額 26,666千円

(1)町内小・中学校の教育環境について ②新学習指導要領に伴う整備

1. ICT教育環境整備

(1)ハード面

【昨年度までの環境整備】

○辰野中学校：生徒用タブレット75台、教師用タブレット25台

大型提示装置22台、無線LAN整備

デジタル教科書（「保健・体育科」を除くすべての教科で整備）

○町内小学校：児童用タブレット80台（小学校全体で）

デジタル教科書（算数4～6年、理科5・6年で整備）

【今年度の環境整備】

○辰野中学校：生徒用タブレット220台、授業支援システム

○町内小学校：児童用タブレット75台、大型提示装置67台、実物投影機37台、無線LAN整備

デジタル教科書の追加（国語・算数1～3年、社会3～6年、理科3,4年）

○小・中学校とともに：指導用パソコン110台

【来年度以降の環境整備】

○町内小学校：タブレットの追加

○町内小・中学校共：プログラミング教材導入、デジタル教科書の追加、ドリル学習ノフト

(2)ソフト面

○ICT教育支援主事……昨年度よりICT教育に精通した正規職員1名を教育委員会に配置、専用車も用意して小回りが利く対応を行っている。

2 小学校（保育園）における外國語活動・外國語教育

- (1) 3.4年生の外國語活動：学級担任主導で授業を行う。（ALTはあくまでも補助）
○週1コマの英語活動に入る。
○「聞くこと」「話すこと」を中心に、英語に慣れ親しむことができるようにする。
- (2) 5.6年生の外國語教育：学級担任主導で授業を行う。（ALTはあくまでも補助）
○週2コマの英語科の授業が、教科書を用いて行われ、評価も行う。
○英単語も覚えなければならぬことは、厳しいが少なくとも、「英語嫌い」をつくって、中学校に送ることはしないようにしなければならない！
- (3) 1.2年生の外國語活動
学習指導要領にはないが、保育園で「英語あそび」を行なって、英語の楽しさを学んできているので、2年間の空白をつくらないよう、年10時間程度の「外國語あそび」を行なう。
- (4) 来年度の構想（予算査定を待たず職員の募集をかける）
○英語の先生を町費で確保し、保育園年長児から空白の小学校1.2年の外國語活動支援を行なう。
○年一度、総ての学年で「外國語活動」「外國語教育」を公開する。（授業参観を実施）可能ならば今年度後半に実施する。
- 保育園における
　　今日の英語あそび
・小学校のALT二人が、年4～5回程度保育園で実施
・つくば開成学園高校の先生が「Kinder English」を年中児、年長児に実施（4回程度）
○園児は実際に楽しく英語あそびを行なっていて吸収も早い！
(この園児が小学校へ)